

議会だより しらおか Shiraoka



アロヒラニ



千里一步会



Opalus

第2回（4月）臨時会
第3回（6月）定例会

P 2 ・ 3

クローズアップ

白岡市立西小学校プレハブ
校舎整備に関する請願

P 4

5年度政務活動費の収支報告

P 5

一般質問 市政のそこが聞きたい!

P 6 ～ 13

委員会活動報告「見たこと・聞いたこと、そして考えたこと」
組合議会報告

P14 ・ 15

審議結果、市議会からのお知らせなど

P16

～皆さんのがんばる姿、
楽しいひととき～

コミュニティセンターで活動して
いる市民サークルの取材から

[上] アロヒラニ（モダンハワイアン）

せんりいっぽがい
[左下] 千里一步会（サクソ演奏）

オパルス
[右下] Opalus（コーラス）

No.224

令和6年4月臨時会
令和6年6月定例会
(2024.8.1発行)

白岡市の公式ホームページで議会の情報（議案、会議録等）が見られます。
<https://www.city.shiraoka.lg.jp/shiseijoho/shigikai/index.html>



第2回(4月)臨時会

議案
第40号 ▶ 承認

専決処分の承認
(一般会計補正予算(第1号))

4月12日に専決処分された6年度一般会計補正予算(第1号)を承認したものです。

補正内容は、マイナンバーカードに係る事業の委託費と市有財産維持管理事業に係る工事請負費等を追加するものです。

問 旧庁舎跡地に油臭い地下水が出たと部長答弁があった。事業用定期借地権設定契約者からの契約不適合(瑕疵担保責任)の疑いがあるとの通知は、いつ、どのようなものだったのか。正確な通知日と要求内容は。

答 市は、契約者から契約不適合の通知は受けていないが、油臭い土壌等が出たとの連絡があった。市は、7月の保育園開園までの工程を考慮すると、早期に対応する必要があるものと判断し、土壌調査に要する手数料、貯留槽を浅く設置するために要する設計・手続の費用、残土の搬出・処分に要する費用などについて専決処分した。

反対討論 市有財産維持管理事業は、土壌汚染に該当物質がないことから、雨水浸透貯留槽については当初どおりに工事を進め、出た残土は今と同様に仮置きし、適切に処理すれば済む。工事費を先払いし、後に精算する方法のこの専決処分には反対だ。

議案
第41号 ▶ 可決

白岡宮代線整備工事請負
契約の変更契約の締結

白岡宮代線整備工事(P5・P6橋脚工)において地下水の湧出等があり、早急に対応するため、当契約の変更契約を締結するものです。

問 予期せぬ事案で追加工事・補正予算となる対応について、方針はどうなっているのか。

答 地下水や地盤などの事前調査を行った上で工事を発注しているが、調査時点で確認ができなかった事案が発生している。このような場合は、その都度、安全を第一に考え対応方針を決定し、不退転の決意を持って事業を進めていく。

第3回(6月)定例会

議案
第44号 ▶ 可決

市道路線の認定

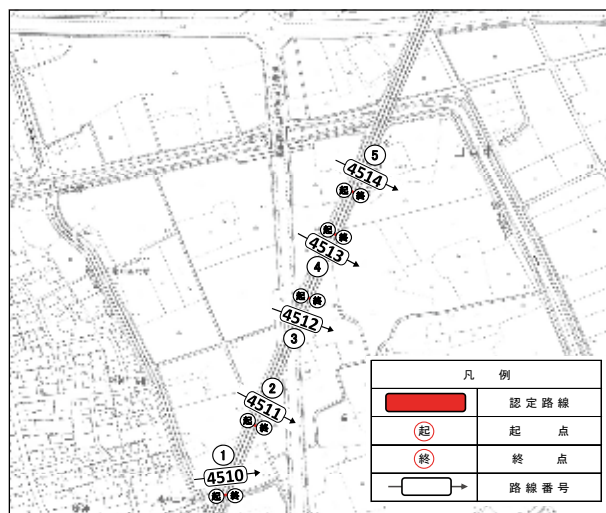


市道4511号線(新幹線高架下)

篠津地内の土地改良事業に伴い、事業区域内の市道13本を廃止し(議案第45号)、当該路線のうち、東北新幹線高架下の部分を新たに市道として認定するものです。

問 篠津地内で民間事業者により事業化されている土地改良事業に伴い、事業区域内の市道路線が廃止になる。その廃止により残った東北新幹線高架下の短い市道路線を認定し、維持する必要があるのか。

答 民間施行の土地改良事業により、事業区域内の既存路線を廃止することに伴い、事業区域外となる既存道路を新たに認定するものである。現段階では、土地改良事業の土地利用等が未確定であることから、事業に係る出入り等の利活用に支障を来さないよう、認定するものである。



認定路線詳細図

新型コロナウイルス感染症予防接種事業、小久喜橋の補修設計業務などを行うため4億7924万6千円の補正を行うものです。また、7つの公共施設への太陽光発電設備等導入事業（PPA事業）の債務負担行為の追加です。

問 太陽光発電設備等導入事業（PPA事業）の事業者として、設立まもない白岡エナジー㈱を選定するリスクを市はどう考えているか。

また、募集要領に定められた提出書類である直近3年分の貸借対照表、損益計算書、業務実績調書等の提出はあったのか。

答 白岡エナジー㈱との契約の際には、実施する事業者が業務遂行困難な場合であっても、別の法人が事業を引き継ぐようにするなど、本市のリスクが最小限になるよう進めていく。

なお、白岡エナジー㈱は、設立まもない法人であるため、各書類の提出はないが、本事業を取り組むための技術提供を㈱アドバンテックから受ける旨や、同法人の業務実績を記載した理由書の提出を受けており、評価の参考とした。

各委員会における質疑

問 新型コロナウイルス感染症予防接種事業に関し、当市における新型コロナワクチンによる健康被害の件数は。

答 健康被害の申請件数は8件。うち、認定が5件、否認が1件、審議中が2件である。

問 橋梁長寿命化事業で小久喜橋の補修工事の設計費が990万円であるが、工事費はいくらの想定か。また、工事時期の予定は。

答 設計業務で補修方法等も含め検討した後に工事費が決定する。他市の事例では、数年前に1億2千万円程度であったと認識しているが、物価や人件費が高騰しているため更に費用が掛かるのではないかと想定している。



小久喜橋

また、工事時期は、高速道路を管理する東日本高速道路㈱と調整を行っているが、現時点では、8年度の実施を目指している。

問 コミュニティ助成事業で、昨年度は、今まで助成されなかった団体からの申請はなく、岡泉行政区からのみの申請だったという認識でよいのか。

答 そのとおりである。過去10年間を見ると、毎年平均で3団体程度から申請を受けているが、昨年度の申請は岡泉行政区のみであった。

問 定額減税について、市民から問い合わせはあるか。また、説明は行っているのか。

答 給与所得者や年金受給者からの問い合わせが多い。制度を市民に理解していただけるよう丁寧に説明している。

市は、債務負担行為の追加に当たり、次の事項について適切な措置を講ずること。

1. 「ゼロカーボンシティ宣言」の基本軸となる「白岡市エネルギービジョン」を早期に策定すること。
2. 市のゼロカーボンシティ推進における事業について、科学的・経済的知見に基づき客観的な評価及び審議を可能とする「白岡市エネルギー審議会」等を組織し、そのための必要な支援措置を講ずるよう努めること。
3. 公共施設への太陽光発電設備等導入事業（PPA事業）は、従来からの公共事業の延長としてではなく、過去に行われた事業や人間活動等によって損なわれた地球環境その他の自然環境を取り戻すことを目的として実施される旨を市民が理解し賛同できるように周知を徹底すること。なお、PPA事業における債務負担については、他自治体や一般事業者による実施例を参考にさらなる財政負担が生じないよう契約を行うこと。



生涯学習センター「ごもれびの森」の
屋上に設置された太陽光パネル

請願
第1号 ▶ 採択

白岡市立西小学校プレハブ校舎整備に関する請願

請願者 埼玉県白岡市 水野香奈 外616名

西小学校の児童数増加により特別教室が普通教室に改修されている状況下において、学習環境、校内安全を確保するためプレハブ校舎の整備に関する請願が提出されました。

はじめに、文教厚生常任委員会において請願の審査を行い、全会一致で採択すべきものと決定し、加えて同委員会からの意見を付すことを可決しました。

次に、本会議における審議においても、委員会審査報告後、全会一致で採択することを決定し、市議会の意見を付して執行機関に送付しました。

請願の内容

- 要 旨** 西小学校は、平成30年度以降、児童増加のため、特別教室を普通教室に改修されている状況に加え、令和7年度より大山小学校の児童受入も決定しました。学習環境、校内安全の確保のため、プレハブ校舎を整備していただきたく請願します。
- 理 由** 図工室、英語室、低学年図書室、備品の収納場所がなくなり、以下の点が懸念されるため。
1. 他校では、空き教室が算数の習熟度別少人数指導等に活用されているが、西小には空き教室がないため難しい。他校児童との間に教育格差が生まれる。
 2. 図書室が狭く、本が収まりきらないため、文部科学省が示す学校図書館の標準蔵書数が満たされていない。児童の読書推進のための環境を整えられない。
 3. 図工室がなく、電動糸のこぎりを使用する授業を教室で行うことができない。危険が伴う作業に教員の目が行き届かない可能性があり、事故に繋がる。
 4. 児童が体育の際、パーテーションを立てた廊下や、会議中のPTA会議室で着替えることを余儀なくされている。児童の人権が守られていない。
 5. 収納場所がないため、図工の道具、図書室からあふれた本、教材や備品が、非常時の避難経路である廊下に置かれている。災害発生時の児童の安全確保ができない。

委員会における質疑

問 請願者が望んでいるのは学習環境の整備と校内安全の確保である。プレハブ設置以外に手立てはあるか。

答 8年度中に策定する学校適正規模・適正配置計画と合わせて学区の見直しを図り、児童数の偏りを改善していくことと考えている。

問 学校適正規模・適正配置計画は、長期にわたり実施する性質のものであり、本請願は緊急事態として取り扱う必要があると考えるがどうか。

答 請願が出たので、9月議会で学校適正規模・適正配置計画策定の補正予算要求を考えていく。プレハブ校舎については、早めに検



廊下に置かれた移動式図書棚など

討した上で、建てるのかどうか、いつまでにできるのか等を示して進めていきたい。

問 3月議会における大山小学校廃校に関する議案に対する附帯決議では「受入先となる小学校の教育環境の改善を図ること」としている。しっかりと実行してほしい。

答 時間を頂く必要があるが、しっかりと対応していく。

市議会としての意見

1. プレハブ校舎が設置されるまでの間も、請願理由5項目の課題解決に向けて、対策を講じること。
2. 学校と教育委員会との意見の齟齬が出ないように、密に連携をとること。



5年度 政務活動費の収支報告

政務活動費は、会派が行う活動に要する費用を補助する経費として、交付を受けようとする会派の代表者に対し、議員一人当たり月額1万円が交付されます。使途の範囲は、右の表の項目に限られます。

提出された収支報告書には、領収書と実績報告書が添付され、残金がある場合は、その額を返還することになっています。

なお、交付額を超える支出は、各会派が負担します。

また、会派に所属せずに、単独で政務活動を行う議員に対しても交付されます。

項 目	内 容
調 査 研 究 費	研修会などの開催に要する経費、他の団体が開催する研修会などへの参加に要する経費
調 査 費	交通費・宿泊費など先進地調査に要する経費
会 議 費	会場費など会議に要する経費
資 料 作 成 費	資料の作成に要する経費
資 料 購 入 費	定期刊行物・書籍などの購入に要する経費
広 報 費	会報の印刷代など市民への広報に要する経費
広 聴 費	市民の要望・意見などを聴くために要する経費
要請・陳情活動費	要請、陳情活動を行うために要する経費
事 務 費	事務用品の購入代など事務に要する経費

5年4月【改選前】

(五十音順)

白岡ビジョン 2人	
政 務 活 動 費 交 付 額	20,000 円
広 報 費	15,588 円
事 務 費	3,114 円
支 出 合 計 額	18,702 円
返 還 金	1,298 円

創政会 2人	
政 務 活 動 費 交 付 額	20,000 円
事 務 費	16,949 円
支 出 合 計 額	16,949 円
返 還 金	3,051 円

TSUNAGU 3人	
政 務 活 動 費 交 付 額	30,000 円
資 料 購 入 費	5,060 円
事 務 費	26,244 円
支 出 合 計 額	31,304 円
返 還 金	0 円

日本共産党 2人	
政 務 活 動 費 交 付 額	20,000 円
支 出 合 計 額	0 円
返 還 金	20,000 円

WAKABA 3人	
政 務 活 動 費 交 付 額	30,000 円
資 料 購 入 費	31,460 円
支 出 合 計 額	31,460 円
返 還 金	0 円

*公明党、新風の会は申請がないため、交付していません。

5年5月～6年3月分【改選後】

(五十音順)

希望 2人	
政 務 活 動 費 交 付 額	20,000 円※
広 報 費	16,125 円
支 出 合 計 額	16,125 円
返 還 金	3,875 円

※5年5月のみ交付（会派解散）

公明党 2人	
政 務 活 動 費 交 付 額	220,000 円
調 査 研 究 費	30,940 円
調 査 費	94,753 円
資 料 購 入 費	2,500 円
広 報 費	106,309 円
支 出 合 計 額	234,502 円
返 還 金	0 円

TSUNAGU 4人※	
政 務 活 動 費 交 付 額	420,000 円
調 査 研 究 費	127,098 円
調 査 費	150,180 円
会 議 費	1,114 円
資 料 購 入 費	4,950 円
広 報 費	183,267 円
事 務 費	1,725 円
支 出 合 計 額	468,334 円
返 還 金	0 円

日本共産党 1人	
政 務 活 動 費 交 付 額	110,000 円
調 査 研 究 費	7,000 円
資 料 購 入 費	48,670 円
事 務 費	14,711 円
支 出 合 計 額	70,381 円
返 還 金	39,619 円

白和 8人	
政 務 活 動 費 交 付 額	880,000 円
調 査 研 究 費	455,212 円
調 査 費	245,746 円
広 聴 費	2,406 円
事 務 費	44,452 円
支 出 合 計 額	747,816 円
返 還 金	132,184 円

WAKABA 3人	
政 務 活 動 費 交 付 額	330,000 円
調 査 研 究 費	48,968 円
調 査 費	82,040 円
会 議 費	386 円
資 料 購 入 費	52,901 円
広 報 費	149,545 円
事 務 費	1,293 円
支 出 合 計 額	335,133 円
返 還 金	0 円

※5年5月のみ2人、同年6月から4人



黒須大一郎 議員 (白和)

商業振興を急げ

答弁…市内店舗を応援する態勢を打ち出す

問 人口1万人当たりの白岡市の飲食店数は、14.4店で調査対象の815市区中で813位である。市内飲食業の危機的状況を打開するため、「月1、いや週1で白岡市内のお店で食べよう・吞もう運動」を市が音頭をとって推進するべきと市長に提案する。いかがか。

答 市民の方々が市内店舗で食事や買い物をする機会を増やすことは、商店や商店街のにぎわい創出に必要なことである。そのため、市が先頭に立って応援する態勢を打ち出し、市内店舗を盛り上げるとともに、地域経済の活性化に努めていく。



「お店応援プロジェクト」ポスター(サンプル)

計画 どうなる学校再編

答弁…丁寧に計画を策定していく

問 学校の適正規模・適正配置計画と公共施設再編実行計画の策定目標は、どちらも8年度中である。どう策定するのか。また、基本方針では130万円を超える改修等は原則行わないとしている。西小学校の教室不足等を解消するのは実行計画策定後になるのか。

答 公共施設再編実行計画は、学校の適正規模・適正配置等に係る計画の方向性が出た段階で同計画と並行し策定していく。西小学校の関係は、公共施設再編に関する基本方針や現在進めている学校適正規模・適正配置等に係る計画を含め対応を検討していく。



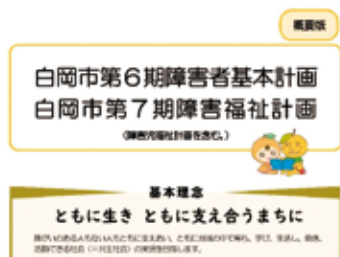
斎藤信治 議員 (WAKABA)

第6期障害者基本計画の実施に向けて

答弁…関係機関と連携し、計画を推進していく

問 第6期障害者基本計画のより良い実施に向けた方策を問う。①障害者権利条約の理解推進②インクルーシブ教育など福祉部門と教育部門の強力な連携③アンケート作成など計画策定の初期から当事者の声を聴く。

答 障害者権利条約については、第6期障害者基本計画の施策を推進することで浸透を図っていく。また、施策の実施に当たっては、教育委員会や関係各課等と連携して進めるとともに、基本計画策定懇話会にて当事者等の意見を伺い、施策に反映できるよう努めたい。



白岡市第6期障害者基本計画(概要版)から

参画 市民参画条例の見直しを

答弁…参画できる仕組みづくりに取り組む

問 市民参画条例施行から10年経過した。見直すべきではないか。

①参画の推進と環境を整備②公募委員を、裁判員制度のような選抜方式とし、割合を増加③初期段階からの介入による審議会等の役割を増大④推進のための組織を創設

答 ①市民が主体となって協働できる仕組みづくりに努める。②無作為抽出の先進事例を調査研究していく。③可能な限り企画段階から関わるができるよう努める。④コミュニティセンターが市民活動を有効的に展開できる場になるよう、取組を推進していく。

※市民参画とは、「市民」の考えを「市」に伝え、ともに協議し「市政」に反映していくこと。



江原浩之 議員（白和）

熱中症対策は

答弁…警戒を促し避難施設を確保

問 熱中症特別警戒アラートが発表された場合、市の対応は。クーリングシェルターの指定箇所は。

熱中症特別警戒アラートが発表されていない時、クーリングシェルターでの熱中症対策をどのように考えるか。民間施設もクーリングシェルターとして指定しては。

答 熱中症特別警戒アラート時は、防災行政無線及び安心安全メールで警戒を促す。クーリングシェルターは市内公共施設7か所を指定し、一時的な休憩所としていつでも利用していただきたい。民間施設の指定は、まずは公共施設で定着を図った後に判断する。



健康 アクティブシニア活躍支援を

答弁…アクティブシニアを支援していく

問 超高齢社会の中、今後においても高齢者支援が重要である。アクティブシニア活躍支援事業の実績は。

また、県の補助金の状況は。今後、アクティブシニア活躍支援をどのように考えているのか。当事業を市の予算で復活できないか。

答 平成30年度から令和2年度までの3年間、講演会やボランティア講座等を実施した。また、現時点で県補助金の今後の交付予定はないとのことである。今後は、主体的に地域活動を行っている団体や老人クラブなどの取組についてより一層支援を行っていく。



石渡征浩 議員（TSUNAGU）

実効性のある 総合防災訓練に向けて

答弁…総合防災訓練の訓練内容を検討していく

問 ①自主防災組織が行う訓練メニューとの重複を避け、すみ分けを。②一つひとつの訓練メニューについて、時間・内容・参加人数の拡充を。③開会式・閉会式などのセレモニーは時間を短縮し、その時間を訓練時間に充てるべき。以上、3点の見解を伺う。

答 初期消火訓練など自主防災組織と重複する訓練を精査し、実効性のあるメニューを研究する。また、避難所運営・開設訓練などのメニューの充実により、訓練時間や人数などの拡充を図るとともに、開会式等の見直しを含め、訓練時間の確保に向け検討していく。



避難 災害時のスムーズな 避難所運営のために

答弁…自主防災組織との協力体制を図っていく

問 避難所の運営は、自主防災組織と市役所職員が協力して行うが、各自主防災組織がどの避難所を担当するかの基本案がない。早急に決めた上で、担当する避難所で、職員と顔を合わせ、事前に建物の配置や広さなど基本的事項を確認しておく必要があるが、いかがか。

答 自主防災組織と指定避難所の組み合わせは、自主防災組織の本来の主旨を考慮し、協力体制を構築することが重要である。当面は、自主防災組織を通じ、避難所の情報共有や意見交換等を重ね、避難所運営の在り方など認識を深めていただくよう連携協力していく。



浜口清志 議員（日本共産党）

地域防災計画（震災対策編）の 取組は

答弁…民間井戸の活用と備蓄品の充実を図る

問 ライフライン施設の安全化をどのように捉えているか。

市が把握している井戸は民間所有を含めて263本あるが、市として、災害用井戸は何本必要と捉えているか。

また、指定避難所の小・中学校防災倉庫に備蓄品は十分あるか。

答 民間井戸の所有者等から、災害時に井戸水を無償で提供いただく災害時協力井戸制度の導入を検討しており、目標値は定めていないが、導入時には協力を呼びかけていく。備蓄品は避難者等に対し、1.5日分を確保するとともに企業との協定等も活用し、充実を図る。



可搬式緊急送水ユニット
（手押しポンプ）

部活動の地域移行の取組は

答弁…計画的かつ段階的に進めている

問 6年11月から市内全ての中学校の休日部活動が地域移行になる予定である。

①委託先は。②活動時間は何時間か。③地域部活動に移行するメリット、デメリットは。④保護者の受益者負担額は1か月当たりいくらか。

答 委託先は、白岡シュポルト・ファアインであり、活動時間は1回3時間以内である。メリットは、より専門的な指導が受けられることなど、デメリットは、保険加入や受益者負担が必要になることである。受益者負担額は、運営協議会で意見を聴きながら検討する。



野々口真由美 議員（TSUNAGU）

お互いが 安心して暮らせる白岡市に

答弁…多文化共生施策を推進していく

問 更に増加すると予想される外国人に対し、行政においては、包括的な支援が求められている。唯一の受け皿である国際交流会と各課との連携の強化、公式ホームページのやさしい日本語対応、さらに、将来的には、外国人総合窓口の設置が必要と考えるがいかがか。

答 引き続き、白岡国際交流会と関係各課との連携を図るとともに、市公式ホームページなどで外国語や、やさしい日本語による情報提供に努めていく。外国人向けの総合窓口は、今後の課題として認識している。



白岡国際交流会
ホームページより

教育 教育支援センターの“支援”とは

答弁…社会的自立に向けた支援である

問 なぜ、小学校高学年から中学生までしか受け入れないのか。なぜ、高等学校進学が目標となっているのか。不登校の理由に応じた関わりが重要であるのは言うまでもない。教育支援センターは、なんのためにあるのか。本来の目的に即した運営になるよう改善を求める。

答 教育支援センターは小学1年生から通室可能である。高校進学のみを目指すのではなく、社会的自立に向けた集団適応指導や学習指導などを行うことを目的とした施設である。今後も学校、行政機関との連携を強化し、不登校児童生徒の支援の充実にも努めていく。



医療

細井藤夫 議員 (WAKABA)

紙の保険証廃止から 市民を守るために

答弁…マイナ保険証制度に適切に対応していく

問 「紙の保険証」は本年12月に新規発行停止されることになった。「マイナ保険証」利用者に対し、今秋に送付される「資格情報のお知らせ」は、右下を切り取って情報記載部分を携帯できるというが、薄い紙では長期にわたる携帯が難しいと考えるが、対応はいかがか。

答 「資格情報のお知らせ」は紙であるため、被保険者情報の部分を切り取り長期に携帯される場合、破損等が懸念される。このため、送付する際はカードサイズのビニールケースを同封するので、利用していただきたいと考えている。



全国保険医団体連合会のポスター

開発 市の「拠点」の整備方針は

答弁…実現の可能性を踏まえ整備を進めていく

問 本市も人口減少に突入している。これから先に向けて、「夢物語のようなプランによる予算の裏付けのない青天井の開発」では、未来に重荷になる。

財政バランスを重視し、しっかりとしたビジョンで都市基盤を整備すべきだが、市長の考えを伺う。

答 社会情勢の変化など、様々な要素があるが、財政状況を含めた実現の可能性を踏まえ、都市計画マスタープランなどの策定を進めている。今後も、都市基盤整備をはじめ、着実にまちづくりを進めていく。



環境

松本栄一 議員 (白和)

空き家対策を どのようにするのか

答弁…相談体制の充実や制度の周知に努める

問 県内の空き家は33万3000戸で総住宅数の9.4%であると総務省が4月末に発表した、本市の状況は。

空き家対策として、空家バンク制度や相談窓口の設置、相談会の開催などがあるが、空家バンク制度の実績と市民への周知をどのようにしているか。

答 6年4月1日現在、市で把握している空家等は435件であり、過去3年間で比較すると、ゆるやかな減少傾向となっている。

空家バンク制度は、5件の登録があり、4件が成約済みである。

広報紙や市公式ホームページ等で引き続き周知していく。



教育 教科担任制の現状と チーム担任制導入を

答弁…各校の実態に合わせた形で進めていく

問 教科担任制が小学校高学年に本格導入され2年が経過した。文科省は中学年にも導入する素案を公表したが、現在の導入状況は。学級担任を固定せず、ローテーションで回すチーム担任制は各自治体で独自に導入可能である。学級担任の負担軽減に導入できないか。

答 小学校では、外国語、音楽など、学校の実態に応じた教科担任制が導入されている。

チーム担任制については、導入のメリットやデメリットについて先行的に実施している自治体の取組を注視しながら、慎重に検討していく。



中川幸廣 議員（白和）

シルバー人材センターへの対応は

答弁…監督責任を果たしていく

問 シルバー人材センターの前理事長が自分自身の報酬を総会の決議を経ずに段階的に引き上げる不正があったと報道された。金額は約800万円で、既に返還したとのことだが、この報道内容が事実なのか。また、今後の防止対策について伺う。

答 報道はおおむね事実であり、市としても重く受け止めている。今後は、シルバー人材センターに補助金を交付している立場から、出納や事務の執行状況、また、法律や定款に則って運営がなされているかチェックするなど、監督責任を果たしていく。



公益社団法人
白岡市シルバー人材センター

福祉 高齢者の見守り事業の現状は

答弁…見守りの目が行き届くよう努めていく

問 はいかい高齢者等家族支援サービス事業、そして、高齢者見守り支援ネットワーク事業で運営上の問題点はないか。そして、それらの対応・解決はどのようにするのか伺う。

答 はいかい高齢者の家族を支援するGPS端末やQRコードステッカーの利用が少ないため、利用者のニーズ把握や事業周知に努める。高齢者見守り支援ネットワークは、地域によっては賛同事業者が少ないため、見守りが行き届くようさらなる協力を呼びかける。



加藤一生 議員（白和）

市の公共下水道施策は

答弁…適切な事業実施に努める

問 ①公共下水道使用料の改定はどうなったか。

②白岡工業団地内への公共下水道延伸の進捗状況は。

③今年も予想される夏季の豪雨による越水への対策をどう考えているか。

答 ①改定により、7年度には経費回収率が約95%を超える見込みである。②今年度から白岡工業団地内の公共下水道幹線工事に着手する。③水路や調整池の適正な維持管理を行うとともに、国や県などの関係機関と連携を図りながら、水害対策に努めていく。



白岡工業団地への下水道延伸工事

人権 職員等に対する カスタマーハラスメント※

答弁…組織として対応し、職員の人権を守る

問 ①職員等に対しての、来庁者によるいわゆるカスタマーハラスメントの発生状況は。

②職員等に対するカスタマーハラスメントにどう対処するのか、基本姿勢を問う。

答 ①来庁者・電話・手紙・メールなどにより複数発生しており、警察に通報し、対応しているケースもある。②該当事案への対応は、組織的に行い、不当な要求には絶対に応じないことを基本姿勢としている。健全な職場環境を維持し、職員の人権を守るよう努める。

※カスタマーハラスメントとは、顧客等からの暴行、脅迫、ひどい暴言、不当な要求等の著しい迷惑行為をいう。



菱沼あゆ美 議員（公明党）

窓口における 難聴者への聴こえの支援を

答弁…導入に向けた調査・研究を行っていく

問 窓口では相談内容に個人情報が含まれる場合があり、周囲に聞こえないような配慮が必要となる。しかし、難聴者へは大きな声での対応になりがちである。小さな声でもよく聴き取れる軟骨伝導イヤホンを、意思疎通支援として設置してはどうか。

答 同イヤホンの活用は、窓口での聞こえづらさの解消等、一定の効果が期待されており、他の自治体で試験的に導入されていることを確認している。今後は、公共施設の窓口での必要性等を確認し、他のデジタル機器等と併せ、導入に向けた調査・研究を行っていく。



窓口で使用する軟骨伝導イヤホン

防災 大雨・豪雨による 水害への更なる備えを

答弁…防災意識の醸成と防災力の向上を図る

問 水害リスクがある地域に、浸水想定の水深を線で表示をすることで、見えるハザードマップとしての効果がある。設置すべきと考えるが、どうか。また、いざという時に助言や情報提供ができる専門家として、気象防災アドバイザーを活用してはいかがか。

答 大雨等による水害の際に想定される浸水の水深を表示するなどハザードマップの見える化を検討するとともに、ハザードマップの活用について広報しらおか等により周知していく。また、防災力の向上を図るため、気象防災アドバイザーの活用も検討していく。



嶋田友一郎 議員（白和）

災害時に活用できる 公園の整備を

答弁…公園への防災機能の付加を検討していく

問 大規模災害により生活インフラが利用できなくなった場合などには、市内指定避難所の収容超過が予想される。貯水槽や消火・雑用水利設備、災害用トイレ、発電設備、かまどベンチ等を備えた防災用途に活用可能な公園の整備を進めてはどうか。

答 公園は市内の各所にあり、災害から市民を守る身近な避難場所であるとともに、地域での共助の拠点としての活用も期待できる。今後、公園施設の整備や改修等の機会を捉え、防災機能を付加できるよう総合振興計画など上位計画への位置付けも含め検討していく。



災害時の炊き出しに使用可能な「かまどベンチ」(久喜市菖蒲運動公園)

教育 教育環境向上への附帯決議の 実施状況は

答弁…適正計画等を踏まえ検討し対応する

問 3月定例会では、大山小学校廃校の内容を含む市立学校設置条例の改正に伴い、「きめ細やかな意見収集と情報提供に努めること」「教育環境の改善を図ること」等の項目を含んだ附帯決議を議決した。それらの実施・取組状況はどうか。

答 両校の保護者等に対し、情報提供や意見収集を進めている。教育環境の改善については西小学校校長と協議を実施しており、今後の児童数推移や学校適正規模・適正配置等に係る計画との関係も踏まえ検討し対応する。また、その他の項目への対応も進めている。

※雑用水とは、水洗トイレ用水や散水、清掃用水など、飲用水より低いレベルの水質でも差し支えない用途の水のこと。



政策

遠藤誠 議員 (WAKABA)

掛け値なしの 地方政府の先駆け

答弁…引き続き市政運営を担う決意を固めた

問 首長はオーラを発するポジションである。企業も民間の知恵者も自分の夢のために近づいてくる。私は藤井市長を信じる。新事業には必ず関心を寄せ伴走してきた。ねぎ、梨、いちごに関する事業など、1期目の動きを止めないために、2期目に足を踏み出さないか。

答 「信頼」「現場第一」「変革」の3つを軸に、市長として職員の先頭に立って市政運営に全身全霊を尽くしてきた。将来を見据えたグラウンドデザインを描き、それを実現するため、これまでのまちづくりを礎とし、引き続き市政運営の責任を全うする決意を固めた。



計画をコンサルなしで 自前で作ること

答弁…効果的、効率的な計画策定に努める

問 市の計画をコンサルタントを使わず、自前で作るという提案があるが、それが仕事の仕方として本当に効率的なのか。そして、働き方改革に適しているのか。計画の在り方をもう一度捉え直し、意味のある計画づくりを再考すべきではないか。

答 最小の経費で最大の効果が発揮されるように、計画の骨子など職員が検討すべき内容と外部委託することで業務の効率化やコスト削減が図られる内容を精査し、必要に応じてコンサルタントへの外部委託を検討するなど、効果的、効率的な計画策定に努める。



福祉

尾嶋一雄 議員 (TSUNAGU)

成年後見制度の利用促進を

答弁…制度の利用促進に向けてPR等に努める

問 成年後見制度利用促進基本計画の施策である権利擁護支援の地域連携ネットワークの各機能について、市や社会福祉協議会はどのような取組を行っているか。また、今後、新たに計画している取組はあるか。

答 4年度に開設した白岡市成年後見サポートセンターでは、成年後見制度の広報や市民からの相談受付を行ってきた。今後は、受任者調整や担い手の育成・活動促進など成年後見制度利用促進や後見人支援に取り組んでいく。



成年後見制度の案内パンフレット

防災 学校教育における 防災教育の取組状況は

答弁…実態や発達段階を踏まえた取組を行う

問 子どもたちが多くの時間を過ごす学校での防災・減災の取組は、自助を育むうえで重要である。現在、市内の小・中学校では、どのような防災教育を実施しているか。また、新たな取組として「ジュニア防災検定」の団体受験を取り入れてはいかがか。

答 自分の命を守る、災害から身を守る行動が取れるよう様々な訓練を実施するとともに、児童生徒の実態や発達段階を踏まえて「防災教育」を行っている。「ジュニア防災検定」については、先進自治体の事例を参考に研究していきたい。



和賀正義 議員 (TSUNAGU)

しらおか味彩センターの 活性化を

答弁…魅力あふれる施設となるよう支援していく

問 しらおか味彩センターの基本方針は、農業や商業の活性化及び地産地消の拠点である。市民のニーズを取り入れた経営改善を求める。

また、農業の課題でもある後継者問題や遊休農地の増加の解決として、農業法人など新しい取組を検討してみてはいかがか。

答 現在、今後の経営や活性化などの取組について助言をいただく会議の設置に取り組んでおり、農業法人化は、この会議でテーマになり得ると考える。利用者や出荷者の声も参考にしながら、魅力あふれる施設となるよう、しらおか味彩センターを支援していく。



しらおか味彩センター

振興 白岡新春マラソン大会を元気に

答弁…あらゆる方法を検討し、よりよい大会を

問 市スポーツ協会加盟団体の人数は10年間で約500人減少している。高齢化も進むが、協会離れも進んでいる。マラソン大会の開催に向け、協力者の負担が懸念される中、今後について、早い準備や、予算の見直しなどの工夫や改善を求めるが、市の対応は。

答 市スポーツ協会の構成員が減少しているため、大会の継続的な実施に向け、運営協力者の確保は課題と捉えている。課題解決に向け、市民や団体の皆様や協賛いただける企業等、各界各層の協力のもと、あらゆる方法を検討し、よりよい大会を作り上げていく。



中山廣子 議員 (公明党)

AIアプリ 「コドマモ」の活用を

答弁…保護者への効果的な啓発を検討していく

問 愛知県警などが開発したAIアプリ「コドマモ」は、子どもがわいせつな自撮りを撮影、保存した際、AIが自動的に感知し、画像を削除するよう促す通知が表示され、保護者にも通知される。性犯罪の被害者にも加害者にもさせないために、周知・啓発しては。

答 現在、小中学校の保護者に対し、フィルタリングの設定や家庭で利用ルールを定めることの大切さなどが示された県教育委員会作成のリーフレットを发出している。今後は、近隣市町の取組や県の動向も注視し、保護者への効果的な啓発について検討を進めていく。



愛知県警などによる
「コドマモ」アプリの紹介チラシ

福祉 認知症の正しい理解と共生社会へ

答弁…認知症施策の確実な推進を図っていく

問 認知症を正しく理解し、発症してからも尊厳を保ち、希望を持って住み続けられるまちの実現に向け、認知症ケアの技法「ユマニチュード※」の考え方を取り入れてはどうか。また、不意の事故に巻き込まれた際に、当事者、家族を守る損害賠償保険制度を導入しては。

答 ケアマネジャー研修や在宅医療・介護連携事業に係る研修等において専門職へのユマニチュードの普及・啓発を図っていく。認知症高齢者を対象とした賠償責任保険制度の導入は、国や県の財源措置がないため、市単独での実施は難しい。

※ユマニチュードとは、フランス語の造語で「人間らしくある」ことを意味する。「あなたのことを大切に思っている」ということを相手に伝えるための技術と、その実践のための考え方をいう。

委員会活動報告

「見たこと・聞いたこと、そして考えたこと」

市民の安全を守るために ～埼玉東部消防組合を訪ねて～

総務常任委員会
4月23日 埼玉東部消防組合

埼玉東部消防組合は、消防広域化により平成25年4月1日に設立され11年が経過した。

今回の視察では、同組合の概要や管内出動件数、災害活動用ドローン、配備車両、指令センター等について説明を受けた。

同組合管内4市2町（久喜市、加須市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町）の人口は、平成25年をピークに減少傾向が続き、5年は443,000人となっている。一方、高齢者の人口は、平成25年から増加し続け、5年には140,281人となっている。

同組合所有の資機材として、災害活動用ドローンの操縦を視察した。3機の災害活動用ドローンには、4Kカメラ等が搭載され、困難な現場での被害状況の確認等に活用されている。小型化・低価格化が進み、災害時での



活用が増えると考えられる。

次に、津波・大規模風水害対策車両の説明を受けた。埼玉県では、同組合に1台配備されている。東日本大震災での救助活動の教訓を踏まえ大規模な風水害等による人命救助に対応するため、水陸両用バギーやストレッチャー、ライフジャケット等の救助活動に必要な資機材が搭載されている。

最後に、指令センターを視察した。119番等の受電からリアルタイムで現場に近い緊急車両の把握等を行う「直近直行」が可能なシステムが導入されているが、旧久喜消防署指令センターでは大変手狭のため、6年度から建設工事を行い、8年度から高機能消防指令センターが稼働予定である。新センターには、72時間連続稼働が可能な非常用発電機用地下タンク等を設置予定である。

近年、異常気象により激甚化する水害は多く、救助活動の充実は重要課題であるため、市民の防災に対する意識啓発に努めたい。

教育環境の改善を

文教厚生常任委員会

5月10日 市役所4階特別大会議室
市立西小学校

当市では、市街化区域と市街化調整区域とで人口の多寡に比例して、児童数の偏りが大きく、教育環境にも少なからず影響を及ぼしている。児童数が多いのは、西小学校、南小学校、白岡東小学校及び篠津小学校で、児童数が少ないのは、大山小学校、菫莪小学校である。児童数の推移を見ると、平成22年度には市全体で2,761人だったのが、20年後の令和11年度には、411人減少し、2,350人になると想定している。小学校別の児童数推移の予想は、篠津小学校は36人の減少、菫莪小学校は67人の減少で全学年が35人以下になるためクラス替えができない、南小学校は67人の減少、西小学校は大山小学校の児童が編入しても2人の減少、白岡東小学校は109



人の減少をそれぞれ見込んでいる。それに伴い、学級数も減少すると見込んでいる。

また、市内でクラス数及び児童数が最大であり、空き教室がない西小学校の現状を把握するため、現地調査を行った。同校では、特別教室の図書室に配置できない分の蔵書を移動式書架台を利用して廊下に工夫して配置している。特別教室の図工室もなく廊下で作業を行っている状況であった。さらに、更衣室がないため、廊下にパーティションを立てて着替えを行わなければならない。職員室は、通路の確保が困難なほど窮屈な状況であった。今後、大山小学校の児童も一緒に学ぶことになる同校には、教室増数等の早急な対策など、教育環境の改善に努めていただきたい。

当市の児童数は、ここ数年でピークを迎え、その後は減少に転じることを考慮すると、学校適正配置計画をしっかりと考えるとともに、余裕ある学区適正化を図るべきである。

新規参入した梨栽培に期待 ～アルファイノベーション(株)の事業展開～

産業建設常任委員会

5月8日 アルファイノベーション(株)

本市下大崎地内に本社を置くアルファイノベーション(株)は、平成23年12月に設立され、翌年2月から青ネギの生産を開始して以降、ネギ類を中心に事業拡大を続け、4年1月からは、後継者不足で生産量が減少している本市特産品の梨の生産を開始した。また、グループ企業として平成25年5月に特定非営利活動法人めぐみの里を開設後は、農業生産・障がい者就労支援・生産物等の流通を合わせた「農・福・商連携事業」を展開し、独自の事業モデルを構築している。



今回の視察では、柴山地内にある同社の梨・ネギの圃場と本社エリアの冷蔵倉庫・出荷調整作業場を見学し、その後、同社が取り組む

事業の内容等について説明を受けた。

本視察を通して、同社が本市に根を下ろし、努力されている状況が伺えた。同社は、農業に新しい流れをつくるとともに、障がい者が働きやすい社会環境づくりにも寄与している。

現在、梨農家の高齢化等により梨の生産量が減少する一方、「白岡美人」のブランド化によって白岡産の梨の需要は高まっている。「低樹高ジョイント仕立て」という新たな栽培方法の導入や、圃場の除草作業をロボット化する等の同社の画期的な経営と、従来の農家により培われてきた慣行栽培の生産技術の融合で、本市特産品の梨の生産量が拡大していくことを期待する。

結びに、市には、各種施策を通じて、本市を拠点として活躍する企業に対する積極的な支援を求める。

組合議会報告

蓮田白岡衛生組合議会

5年中は、定例会が4回、臨時会が1回開催され、人事案件2件、条例関係3件、予算関係4件、決算認定1件を審議し、いずれも原案のとおり同意、可決、認定した。

5年度の組合で受け入れたごみの総量は、30,313トン(うち資源物の収集量は3,774トン)。その後、中間処理を経て、資源化した量は7,584トン(受け入れたごみの総量に対するリサイクル率は25.0%)、最終処分場埋め立て量は699トンであった。

埼玉葛斎場組合議会

5年中は、定例会が2回開催され、人事案件2件、条例関係6件、予算関係4件、決算認定1件、議員提出議案の条例関係1件、条例の制定に対する附帯決議1件を審議し、いずれも原案のとおり同意、可決、認定した。

5年度の組合内の火葬実績は、合計で4,519体(大人4,468体、子ども7体、死胎等44体)で、うち白岡市は大人575体、子ども0体、死胎等6体。組合外の火葬実績は総数で648体。

小動物合同葬実績は、組合内1,043頭、組合外79頭。小動物単独葬実績は組合内735頭であった。

埼玉東部消防組合議会

5年中は、定例会が2回、臨時会が2回開催され、人事案件3件、条例関係9件、予算関係4件、財産取得4件、決算認定1件を審議し、いずれも原案のとおり同意、可決、認定した。

5年中の組合内の火災は218件で、うち白岡市は建物10件、車両3件、その他13件。救急出動は、組合管外を含めて26,346件で、うち白岡市は2,823件。搬送人員は、組合管外を含めて23,574人で、うち白岡市は2,564人。救助出動件数は、組合管外を含めて493件で、うち白岡市は46件であった。

《 4 月議会臨時会及び 6 月議会定例会の審議結果 》

(○：賛成 ×：反対 ー：表決なし)

議案 番号		議席番号・議員名 件 名	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決 結果	
			尾 嶋 一 雄	嶋 田 友 一 郎	細 井 藤 夫	浜 口 清 志	和 賀 正 義	野 々 口 眞 由 美	石 渡 征 浩	斎 藤 信 治	加 藤 一 生	松 本 栄 一	中 山 廣 子	菱 沼 あ ゆ 美	遠 藤 誠	中 川 幸 廣	黒 須 大 一 郎	江 原 浩 之	大 島 勉		
4月議会臨時会	36	固定資産評価員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同 意	
	37	専決処分の承認を求めること（税条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	承 認	
	38	専決処分の承認を求めること（都市計画税条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	承 認	
	39	専決処分の承認を求めること（国民健康保険税条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	承 認	
	40	専決処分の承認を求めること（6年度一般会計補正予算（第1号））	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	—	承 認
	41	白岡宮代線整備工事（P5・P6橋脚工）請負契約の変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	42	久喜市道の路線認定に伴う承諾	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
6月議会定例会	請願 第1号	白岡市立西小学校プレハブ校舎整備に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	採 択 ＊意見あり
	43	都市計画道路白岡宮代線の高速自動車国道東北縦貫自動車道弘前線における橋桁架設工事に関する変更基本協定の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	44	市道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	45	市道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	46	6年度一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	47	6年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	議提案 第3号	6年度一般会計補正予算（第2号）に対する附帯決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—	原案可決

＊請願第1号に対する意見を含め、詳細は4ページ「クローズアップ」をご覧ください。
※18番 大島 勉議員は議長のため、採決には加わっていません。なお、議席番号8番は欠員です。

4 月議会臨時会傍聴者数

本会議 市内 1名 市外 0名 合計 1名

6 月議会定例会傍聴者数

本会議 市内 51名 市外 12名 合計63名
委員会 市内 25名 市外 0名 合計25名
（委員外議員12名を含む。）
※延べ人数です。

次回の議会定例会は、

8月29日（木）開会予定です。

ぜひ、市議会の会議を傍聴にいらしてください。
（議場は市役所4階です。）

6年9月定例会から

**本会議（一般質問・総括質疑）映像の
LIVE中継を開始します**

市民の皆様に開かれた市議会を目指して、ご自宅等でも本会議の様子をリアルタイムでご覧いただけるよう、生中継を開始します。

閲覧方法等の詳細は、市議会公式ホームページでお知らせしますので、ぜひご覧ください。

※ 生中継は、議場内で開かれる「本会議」のうち、「一般質問」と「総括質疑」のみとなります。

編 集 後 記

今年は梅雨に入る前から猛暑日があり、熱中症警戒アラートが発令されて大変でした。地球温暖化が身近に迫っていることを実感しています。この議会だよりが皆さんに届く頃には猛暑日が続いているのではないかと心配しています。

さて、今年度の「議会だより」の表紙のテーマは、コミュニティセンターなど市内で活動しているサークルのご紹介に決まりました。議会広報常任委員が取材に伺いますので、その際はご協力の程よろしくお願いいたします。（浜口）

議 会 日 誌

議会の主な活動内容を市議会ホームページに掲載しています。次の2次元コードからご覧ください。



議会広報常任委員会

委 員 長 黒須大一郎
副委員長 中山 廣子
委 員 尾嶋 一雄
委 員 嶋田友一郎
委 員 細井 藤夫
委 員 浜口 清志
委 員 和賀 正義